
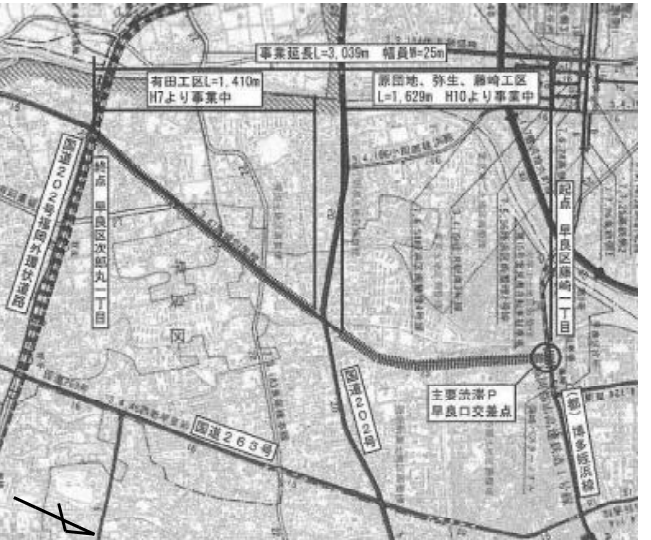


## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：九州地方整備局都市・住宅整備課  
担当課長名：栗田 泰正

<b>事業名</b> ：福岡都市計画道路事業3・3・47藤崎四箇線外1路線 <small style="font-size: small;">ふじさきしかせんほかいちろせん</small>		<b>事業区分</b> ：街路事業	<b>事業主体</b> ：福岡市
<b>起終点</b> ：自：福岡市早良区藤崎 至：福岡市早良区次郎丸 <small style="font-size: small;">さわか じろうまる</small>		<b>延長</b> ：約3.0km	
<b>事業概要</b> ： <p>本事業は、本市の交通体系の中で東西方向の幹線である博多姪浜線と国道202号、外環状道路を結び、本市の西南部交通の幹線ネットワークを形成する道路である。</p> <p>近年、急速に市街化が進み交通渋滞の激化を招いている西南部地域において安全かつ円滑な道路交通を確保し、良好な都市環境の形成を図るため、道路整備を行うもの。</p>			
<b>H7年度事業化</b>		<b>S21年度都市計画決定</b> <small>(S57年度変更)</small>	<b>H7年度用地着手</b>
<b>H7年度工事着手</b>			
<b>全体事業費</b> ：257億円		<b>事業進捗率</b> ：約84%	<b>供用済延長</b> ：約1.4km
<b>計画交通量</b> ：24,900台/日			
<b>費用対効果分析結果</b>	<b>B/C</b> ：(事業全体) 7.43 (残事業) 58.54	<b>総費用</b> ：(残事業)/ (事業全体) 36/ 280億円 (事業費：34/278億円) (維持管理費：2/2億円)	<b>総便益</b> ：(残事業)/ (事業全体) 2,085/ 2,085億円 (走行時間短縮便益：2,011/2,011億円) (走行費用減少便益：67/67億円) (交通事故減少便益：7/7億円)
<b>基準年</b> ：平成16年			
<b>感度分析の結果</b> ： <p>交通量変動：B/C=7.51 (交通量+10%) , B/C=7.35 (交通量-10%)          事業費変動：B/C=7.34 (事業費+10%) , B/C=7.52 (事業費-10%)</p>			
<b>事業の効果等</b> ： <ul style="list-style-type: none"> <li>・幹線道路ネットワークの構築(渋滞が著しい西南部地域と都心部との連携強化)</li> <li>・渋滞ポイントの解消(第3次渋滞対策プログラム、都市圏交通円滑化総合計画に位置づけあり)</li> <li>・災害への備え(地震等災害時における人命救助、復旧活動の為に緊急輸送道路に位置づけあり)など</li> </ul>			
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> ：特になし			
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> ：         この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。			
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> ：         【平成16年度未進捗状況】 事業全体：約84%、工事：約65%、用地補償：約86%			
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> ：         本路線のうち、平成7年度に事業着手した工区については既に完了している。平成10年度から着手した残りの工区においても平成16年度末の事業進捗率は約7割と進んでおり、平成19年度の全線供用を目標に事業推進を図る。			
<b>施設の構造や工法の変更等</b> ：特になし			
<b>対応方針</b> ：継続事業			
<b>対応方針決定の理由</b> ：         以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			
<b>事業概要図</b>			
			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。